



各 位

平成23年7月29日

会 社 名 大 倉 工 業 株 式 会 社

代 表 者 氏 名 代 表 取 締 役 社 長 高 濱 和 則

(コード番号 4221 東証第一部)

問 合 せ 先 常 務 取 締 役 コ ー ポ レ ー ト セ ン タ ー 担 当 兼 経 理 部 長 豊 田 員 史

(TEL 0877-56-1111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成23年2月18日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成23年12月期第2四半期連結累計期間業績予想数値の修正

(平成23年1月1日～平成23年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 40,000	百万円 650	百万円 450	百万円 250	円 銭 4.08
今回修正予想 (B)	43,350	1,480	1,300	1,480	24.18
増減額 (B-A)	3,350	830	850	1,230	—
増減率 (%)	8.4	127.7	188.9	492.0	—
前期第2四半期実績 (平成22年12月期第2四半期)	38,771	893	721	855	13.97

2. 平成23年12月期連結通期業績予想数値の修正 (平成23年1月1日～平成23年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 83,000	百万円 2,100	百万円 1,700	百万円 1,000	円 銭 16.33
今回修正予想 (B)	85,500	2,600	2,200	1,800	29.40
増減額 (B-A)	2,500	500	500	800	—
増減率 (%)	3.0	23.8	29.4	80.0	—
前期実績 (平成22年12月期)	80,030	2,015	1,667	1,205	19.69

2. 修正の理由

平成23年12月期第2四半期の業績を踏まえ、2月18日に公表した連結業績予想数値を修正いたします。

(1) 第2四半期累計期間

① 売上高

合成樹脂事業部門は、カップ向けシュリンクフィルム、農業用フィルムや液体輸送用リキッドパックを中心に販売が順調であったことにより、新規材料事業部門は、スマートフォン向け光学フィルムの販売が好調だったことにより、建材事業部門は、パーティクルボードの販売が伸びたことにより、前回予想値を上回る見込みです。その他の事業部門は、ホテル事業において宿泊や宴会が減少したものの、木材加工（プレカット）事業において販売が好調だったことにより、ほぼ前回予想どおりとなる見込みです。

以上の結果、売上高は前回予想値を33.5億円上回る433.5億円となる見込みです。

② 営業利益、経常利益及び四半期純利益

合成樹脂事業部門、新規材料事業部門は、販売数量の増加に伴い、営業利益が前回予想値を上回る見込みです。建材事業部門は、原材料価格の上昇により、営業利益はほぼ前回予想どおりとなる見込みです。

以上の結果、営業利益は前回予想値を8.3億円上回る14.8億円、経常利益は前回予想値を8.5億円上回る13億円と見込んでおります。四半期純利益は、貸倒引当金戻入額等の特別利益が2.0億円発生する見込みであること、繰延税金資産の計上により法人税等調整額を△2.3億円計上する見込みであることにより、前回予想値を12.3億円上回る14.8億円となる見込みです。

(2) 通期

今後のわが国経済は、震災によるサプライチェーン寸断等の影響は次第に収まってくるものと見込まれますが、他方では、電力不足問題が長期化且つ広域化するおそれや円高の定着傾向が見られ、依然として不透明な経済環境が続くものと見込まれます。したがって、下期の売上高につきましては、各事業部門とも上期に比べて売上の大きな伸びは望めないものと予測し、通期の売上高は前回予想値を25億円上回る855億円、営業利益は5億円増の26億円と予想します。

経常利益、当期純利益につきましても営業利益と同様にそれぞれ5億円、8億円増の22億円、18億円になるものと予想します。

(注)本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのため、実際の業績はさまざまな重要な要素により、記載された見通しと大きくかけ離れた結果となりうることをご承知おきください。

以 上

平成23年7月29日

業績予想の修正に関する参考資料(連結)

大倉工業株式会社

1. 平成23年12月期第2四半期連結累計期間業績予想数値の修正
(報告セグメントごとの業績状況)

(単位:百万円)

項 目		前回発表予想	今回修正予想	増減額	増減率	前期実績
売 上 高	合成樹脂事業	24,500	26,000	1,500	6.1	24,046
	新規材料事業	9,000	10,550	1,550	17.2	8,729
	建 材 事 業	4,300	4,600	300	7.0	3,959
	そ の 他	2,200	2,200	0	0.0	2,035
	計	40,000	43,350	3,350	8.4	38,771
営 業 利 益	合成樹脂事業	1,700	2,180	480	28.2	1,952
	新規材料事業	200	460	260	130.0	322
	建 材 事 業	△ 450	△ 450	0	-	△ 685
	そ の 他	100	80	△ 20	△ 20.0	63
	調 整 額 (注)	△ 900	△ 790	110	-	△ 759
	計	650	1,480	830	127.7	893
経 常 利 益		450	1,300	850	188.9	721
当 期 純 利 益		250	1,480	1,230	492.0	855

(注)調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. 平成23年12月期連結通期業績予想数値の修正
(報告セグメントごとの業績状況)

(単位:百万円、%)

項 目		前回発表予想	今回修正予想	増減額	増減率	前期実績
売 上 高	合成樹脂事業	50,500	51,500	1,000	2.0	49,688
	新規材料事業	19,000	20,000	1,000	5.3	17,638
	建 材 事 業	9,000	9,500	500	5.6	8,327
	そ の 他	4,500	4,500	0	0.0	4,376
	計	83,000	85,500	2,500	3.0	80,030
営 業 利 益	合成樹脂事業	3,600	4,100	500	13.9	4,059
	新規材料事業	900	900	0	0.0	700
	建 材 事 業	△ 850	△ 850	0	-	△ 1,416
	そ の 他	200	200	0	0.0	218
	調 整 額 (注)	△ 1,750	△ 1,750	0	-	△ 1,545
	計	2,100	2,600	500	23.8	2,015
経 常 利 益		1,700	2,200	500	29.4	1,667
当 期 純 利 益		1,000	1,800	800	80.0	1,205

(注)調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

以 上